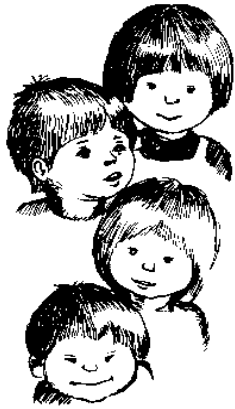


父母・教職員・研究者・学生の皆さんへ  
教育・子育てに関心をお持ちのみなさんへ

## あいち県民教育研究所

－入会案内－

子どもたちの成長としあわせを願い  
学習・研究活動とともに進めましょう



あいち県民教育研究所(あいち民研)

〒462-0804

名古屋市北区上飯田南町 2-18-1

あいち子ども会館内

E-mail [minken@aichi.email.ne.jp](mailto:minken@aichi.email.ne.jp)

H P <http://www.ne.jp/asahi/aichi/minken/>

郵便振替口座 00850 - 6 - 84886

### 会員になると

- ① 研究所通信「あいち民研」が定期的に届きます。
- ② 研究所年報「あいちの子育てと教育と文化」が届きます。
- ③ 各種研究部会や調査・研究プロジェクトの活動に、自分の条件に応じて参加できます。
- ④ 研究所主催の講演会・シンポジウム・講座が、割安の「会員参加費」になります。
- ⑤ 優先的に子育て・教育上の相談や専門家の紹介を受けることができます。

### 年会費

(4月から翌年3月まで)

個人会員 三〇〇〇円 (学生・院生は、二〇〇〇円)

特別会員 一〇五〇〇円 (二〇以上の方には民研の出版物を進呈)

団体会員 一〇五〇〇円以上

## あいち民研・入会申込書

年 月 日

フリガナ  
氏 名

市民 (父母 その他)  
教職員 [幼・小・中・高・養・大・退職]  
学生・院生

参加している教育・子育て団体等 (ありましたら)

住所  
〒 (                      )

TEL (                      )                      -

Fax

E-mail

参加してみたい部会や要望・ご協力いただけること、子ども・教育のことでお感じになっていることなど、自由にお書きください。

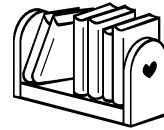
## あいち県民教育研究所のあゆみと活動の紹介

- ・あいち県民教育研究所は、一九九一年五月に設立された会員制研究所です。
- ・この研究所は次の五つのことを柱にして活動をしています。
- ・合い言葉は「父母・住民・教職員の共同の場を求めて」です。
- どなたでも会員になれます。他団体組織からの援助には頼らず、自立した活動を心がけてきています。
- 子育て・教育に関わる幾つかの研究部会、所員会議、運営委員会をベースに、市民・教育関係者が対等な立場で参加・協議して問題の解明をはかるようにしています。
- 高校入試制度、学習指導要領、地域の子育て問題などについて、公開シンポジウムや学習会あるいは調査分析にもとづく改革提言など、県民のニーズに応える活動を行なっています。
- 県下で起きた教育関係の事件等については、調査プロジェクトを立ち上げ聞き取り調査や資料収集を行なっています。
- 会員通信、年報と共に、「高校入試」「少年事件」などタイムリーな叢書・ブックレットも刊行しています。

### ■こんな研究活動をしています

#### 研究部会・プロジェクト

- ☆教育実践部会
- ☆教育への権利部会
- ☆高校入試制度と中等教育問題部会
- ☆現代における人間形成部会
- ☆現代の親の実像をとらえるプロジェクト



### ■こんな集まりを開いています

#### 企画（公開学習会・シンポジウムなど）

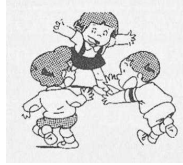
- ☆公開シンポジウム「愛知の教育改革を問う」
  - ☆全国教育研究交流集会「あいち」
  - ☆その時々々の課題に応じ公開学習会などを年間数回開催
- これまでの主な取り組み例です
- ☆いじめ・自殺事件「調査
  - ☆少年「5000万円」恐喝事件調査
  - ☆「荒れ・学級崩壊」調査
  - ☆子育て講座
  - ☆子ども調査



## ともに 「愛知の教育と文化」を 考え、つくっていきませんか

### 〈会員からの声〉

実践を省みることが、なかなかできない私は、ここで原点に立ち戻ることができたり、励まされたり、たくさんの力をいただいています。



（元小学校教員 丹下）

地域の親や子どもたちの声や思い・疑問を正面から受けとめてくれる組織です。ここで子育てや教育の専門的な知識や情報を学んでいます。

（母親 岩瀬）

最新の教育研究の成果と教育現場の実態、父母の声がリアルタイムで伝わってきます。研究と実践が、結びついた"共育"づくりの場として、私にとって不可欠の存在です。

（研究者 大橋）

